



観光の専門家の話を聞く4市町記念フォーラム

洞爺湖有珠山ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟を記念して開かれた4市町記念フォーラム（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会など主催）の最終回が、12月16日洞爺湖文化センターで行われました。

ジオパークを観光振興にどのように結びつけていくのかをテーマに、札幌学院大学経営学部の河西邦人教授、北海道運輸局小林稔企画観光部長、日本旅行北海道仕入販売センター清水芳裕所長の3者が講演。

組織づくりの参考例や北海道への人気と反するホスピタリティや接遇の低評価などが語られ、現実としては「教育旅行として特化していくのが良いのでは」などの具体的提言もなされました。

## ジオパークを観光振興に 住民を基盤とした組織体制の確立

## いじめのない楽しい学校生活を とうや小で「人権教室」



教室終了後イメージキャラクターの人KENまもる君と記念撮影

思いやりの心を育むことを目的に12月16日とうや小学校で、1年生から4年生までを対象に「人権教室」（札幌法務局室蘭支局など主

催）が開かれました。

当日は、1、2年生と3、4年生の2回に分けて開催され、ちょっとした誤解が友達からの意地悪につながる「プレゼント」のビデオを鑑賞。

人権擁護委員の五十嵐優子さんと桑原敏さんが講師となり、いじめをしないだけでなく、傍観していることもいじめにつながることを説明しました。

同教室の前には、同校が行ってきた人権の花運動に対する感謝状贈呈式が全校生徒参加で実施され、人権擁護委員の方たちから山賀大くんたち児童へ感謝状と記念品が授与されました。

## 親子で石のランタンづくり 幻想的な灯火に魅了

12月19日クリスマスシーズンを迎えて、身近な石を利用して家庭で幻想的な雰囲気を作ろうと「石のランタンづくり」が洞爺湖ビジターセンターで開かれ、親子連れなど15人が、慎重に石を積み重ねながらランタンを作りました。

同センター職員藤井安澄さんの指導の下、用意した長流川流域の小石を、すき間が空くように接着剤を使用して積み重ね、最期にろうそくを底に設置。

室内の電気を消してろうそくに火をつけると、石のすき間から柔らかい火がこぼれ、参加者も魅了されていました。



幻想的な石のランタン

暮れの恒例となっている入江4区自治会と同婦人防火クラブ合同の防火防犯パトロールが、12月17日行われ、拍子木を叩き、寒空に向かって「火の用心」を叫びながら、くまなく地域を回りました。

5年ほど前からはじめた活動で、12月に入って、3日、10日、17日、22日の4回実施。毎回約20人が参加しています。

この日も午後7時に入江4区の集会所に集合。佐藤義昭会長の「寒さと雨が降って事故が多発しています。入江4区の防火と皆さんの健康のためにがんばっていきましょう」



寒空をパトロールする入江4区の皆さん

との激励を受けた後、2グループに分かれて、同区全域を約50分ほどかけて巡回しました。

## 暮れの防火防犯パトロール 「火の用心」の声高く

# まちのわだい